

安井小学校 学校だより

第1回 学校評価特別号

令和2年12月
京都市立安井小学校
校長 當麻 章英
TEL 075-841-3130 fax 075-811-3333
HP <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/yasui-s/>

★令和2年度 第1回 学校評価のまとめ★

7月に行った学校評価アンケート結果についてお知らせします。

<学校生活について>

安井小学校では、「輝く 安井の子の育成」を学校教育目標として教育活動を推進しています。本校の教育がめざす子ども像は「生きる力」を育む「知・徳・体」の3つで構成し、「やさしく思いやりのある子」「すすんで学習を進める子」「いきいき元気な子」の育成を目指しています。

学校評価アンケート結果のうち、「友だちに仲良く、優しく接している。」の項目で、低学年で約94%，高学年で約96%の児童が「できている。」と答えています。また、保護者アンケートでも約94%が「子どもは友だちや周りの人に仲良く優しく接している。」と回答しています。周りの友だちとの関係をもとと、声をかけている姿をたくさん見かけ、友だちのことを考えて行動している子どもたちが多いと感じています。学校教育目標の「やさしく思いやりのある子」に近づいています。

	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
(低学年) ともだちになかよく、やさしく接している。	80.7%	13.4%	5.9%	0.0%
(高学年) 友だちに仲良く、優しく接している。	71.6%	24.7%	3.6%	0.0%
(保護者) 子どもは、友だちや周りの人に、仲良く優しく接している。	26.9%	66.7%	6.5%	0.0%

<学習について>

「授業の内容はよくわかる」という問い合わせに対して低学年の約93%，高学年の約93%がわかると答えています。また、保護者の約91%が「学校は、学習内容がよくわかり、基礎・基本の学力がつくように支援している。」と答えています。これに対して「授業中は自分から進んで学習したり、発表したりしている。」では、低学年の約15%，高学年

の約23%が主体的に学習に取り組めていないと思っていることが分かりました。また、学年が上がるにつれて「宿題や自主学習など、家で学習をしっかりしている。」「家でも読書をしている。」の項目で、できていない割合が少し高くなっています。「すすんで学習を進める子」を実現するために、日ごろの授業においては子どもたちの主体性を生かせるような授業計画や、家庭学習での自主勉強の質の向上を図れるような取組と考えていきたいと思います。

	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
(低学年)じゅぎょうのないようは、よくわかる。	74.4%	19.0%	3.3%	3.3%
(高学年)授業の内容はよくわかる。	54.8%	38.2%	6.5%	0.5%
(保護者)学校は、学習内容がよくわかり、基礎・基本の学力がつくように支援している。	31.9%	59.3%	7.7%	1.1%



<みそあじについて>

本校で長年取り組んでいる「みそあじ運動」の結果です。

「みじたく、学校の準備ができる。」については低学年の約93%，高学年の約90%ができると答えています。保護者の回答では、約79%でした。概ねできています。低学年で身に付けたみじたく、学校の準備の生活習慣が高学年でも生かされています。ただ、忘れ物が目立つ児童も少なくないです。子どもたちの自立を目指していく中で、忘れ物を少なくすることも大切なことなので、ご家庭での声かけをお願いします。

「そうじ、身の回りの整理・整頓ができる。」については、低学年で約93%，高学年の約81%ができると答えています。高学年では、あまりできていない割合が低学年にくらべて約3倍にあがっているので、そうじの仕方や身の回りの整理・整頓の仕方を高学年でもていねいに取り組んでいく必要があると感じました。美化委員会

からのそうじの仕方を全校に発信したり、それぞれのクラスで身の回りのものを整理整頓する方法を話し合ったりなど、学校全体でできるように取り組み、子どもたちが達成感を味わえるようにしていきたいです。



「あいさつを進んでできる。」については、低学年で約 92%，高学年で約 89%の児童ができると答えています。大きな声で元気よくあいさつをしている子どもたちもいて、清々しい気持ちになります。しかしながら、保護者は約 17%できていないと感じているので、校内で出会った方や地域の方にもあいさつをするなど、子どもたちがさらに進んであいさつできるように学校全体で続けて取り組んでいきます。

「時間やルールを守って行動できる。」については、低学年で約 93%，高学年で約 91%の児童ができると答えています。子どもたちは、チャイムを意識して行動しています。多くの子どもたちはチャイムがなる前に着席をしたり、そうじに取りかかったりしています。また、学校のルールを守るために、お互い声をかけながら行動を正す姿を見受けことがあります。時間やルールを守ることの意味をしっかりとと考えて、自分たちの活動をよりいい活動にしようとしています。それを実現できている子どもたちはとてもすばらしいです。

今後は「あまりできていない」という子どもたちができるように、今後も「みそあじ運動」の取組を推進していきたいと思っております。

(低学年)	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていな い	出来ていな い
みじたく、がっこうのじゅんびができる。	77.1%	16.1%	5.1%	1.7%
そうじ、みのまわりのせいり・せいたんができる。	72.7%	20.7%	3.3%	3.3%
あいさつをすすんでできる。	76.2%	15.6%	5.7%	2.5%
じかんやルールをまもって、こうどうできる。	79.5%	13.9%	4.1%	2.5%

(高学年)	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていな い	出来ていな い
みじたく、学校の準備ができる。	53.3%	37.2%	8.0%	1.5%
そうじ、身の回りの整理・整とんができる。	43.4%	37.9%	17.2%	1.5%
あいさつを進んでできる。	58.8%	30.2%	8.0%	3.0%
時間やルールを守って行動できる。	48.7%	42.6%	7.1%	1.5%

(保護者)	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていな い	出来ていな い
みじたく、学校の準備ができる。	27.6%	51.1%	18.4%	2.9%
そうじ、身の回りの整理・整とんができる。	15.2%	41.6%	36.0%	7.2%
あいさつを進んでできる。	28.0%	55.0%	14.8%	2.1%
時間やルールを守って行動できる。	22.5%	50.3%	23.5%	3.7%

<早寝・早起き・朝ごはんについて>

「早寝・早起き・朝ごはんができる。」と答えたのは低学年で約 84%，高学年で約 80%です。保護者アンケートでは、「早寝・早起きをさせている」が約 66%，「子どもは朝ごはんを毎日食べている。」は約 96%になっています。

早く寝たら、早く起られ、朝ご飯を食べることができて元気に活動することができます。この基本的な生活のリズムを確立することで、よりよい体の成長とともに、心の成長や学力の向上に優位に働くと言われています。そのため日ごろから「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣化を目指し、規則正しい生活リズムの確立をお願いしたいです。

令和 2 年度第 1 回学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。皆様からのご意見をしっかり受け止め、今年度の学校運営をはじめ日々の教育活動に生かしていきたいと考えています。